

社会情報から考える地域についての空間的・総合的理解の実施

情報科学研究科 川向 肇



キーワード

OpenData 地方自治体 DX アンケート調査などの利活用

研究概要

近年、国土交通省、農林水産省、環境省、都道府県だけでなく、県内のいくつかの市区町村など地方自治体から、独自に実施した施策にまつわる空間的データやアンケート調査の加工前データが提供されるようになってきた。これらデータに空間要素を加味し、利活用するためには、いくつかの壁が存在する。データを単体で利用することで、一定の対象(具体的には、地域社会や市町村)の構造や課題などの空間的・相対的理解を深めることもできるが、提供元が異なる複数のデータを相補的に利用しつつ、空間事象の現実課題の解決策を考えるための教育、研究を実施している。また、オープンソースのソフトウェアなどを活用した分析方法やデータ構築、可視化の研究も実施している。

有償・高機能の統計解析ソフトウェアや地理情報システムなども利用しつつ、空間分析についての研究教育を実施している。

アピールポイント

課題解決にあたっては、相談者の抱える問題を一般システム理論に立脚した方法論に立ち、多様な面についてのデータ収集や表現方法を検討し、課題を抱える地域社会のステークホルダーの立場に立った解決策を提示してきた。

応用分野

自治体DX・地域の安心安全の向上におけるDX化・市民満足度向上施策の立案の空間情報技術による支援

